

eBASE株式会社 2014年3月期決算と 事業報告

当資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2014年5月

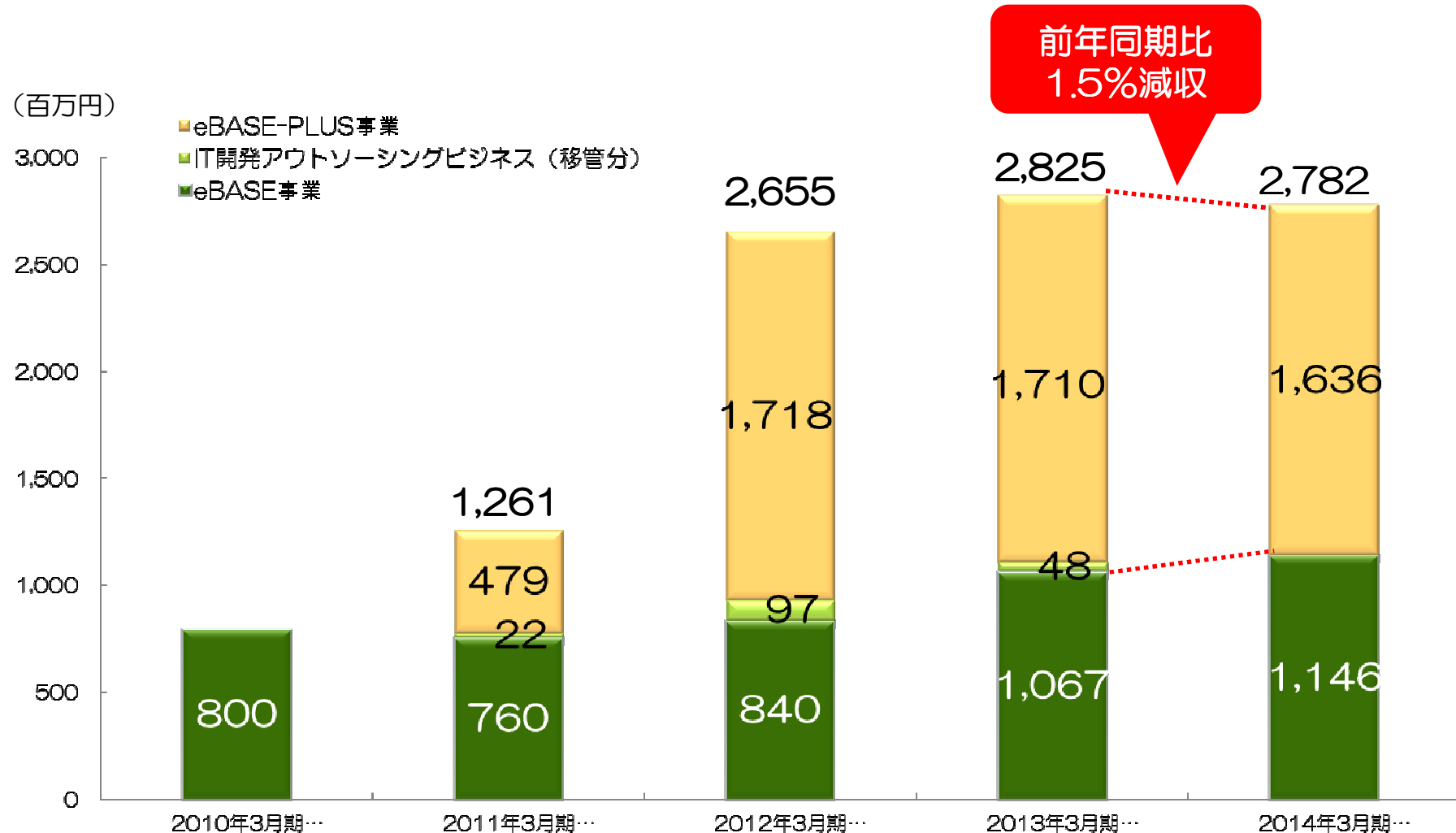
会社概要

- 会社名： eBASE株式会社 （証券コード：3835）
- 設 立： 2001年10月
- 資本金： 190百万円
- 本社所在地：大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル
- 理 念：
貢献なくして利益なし、利益なくして継続なし、継続なくして貢献なし
社会から求められ、賛同を得られるサービスでないと利益を得ることはできない。
利益を上げないと、そのサービスを継続し成長させていくことはできない。
結果的に、継続した成長を提供できるサービスでないと社会貢献ができない。
- 事業内容：コンテンツマネジメントソフト「eBASE」の企画開発・販売・保守
- グループ会社：
eBASE-NeXT株式会社：「eBASE」のクラウドサービス・データプールサービスの運用
eBASE-PLUS株式会社：「eBASE」の受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守
・IT開発アウトソーシングビジネス
- グループ総従業員数： 391名（399名/役職員含む；前年比より28名増）

2014年3月期通期決算 (2013年4月～2014年3月)

- 連結売上高の推移
- 連結経常利益の推移
- 連結業績の推移
- 連結貸借対照表

連結売上高の推移

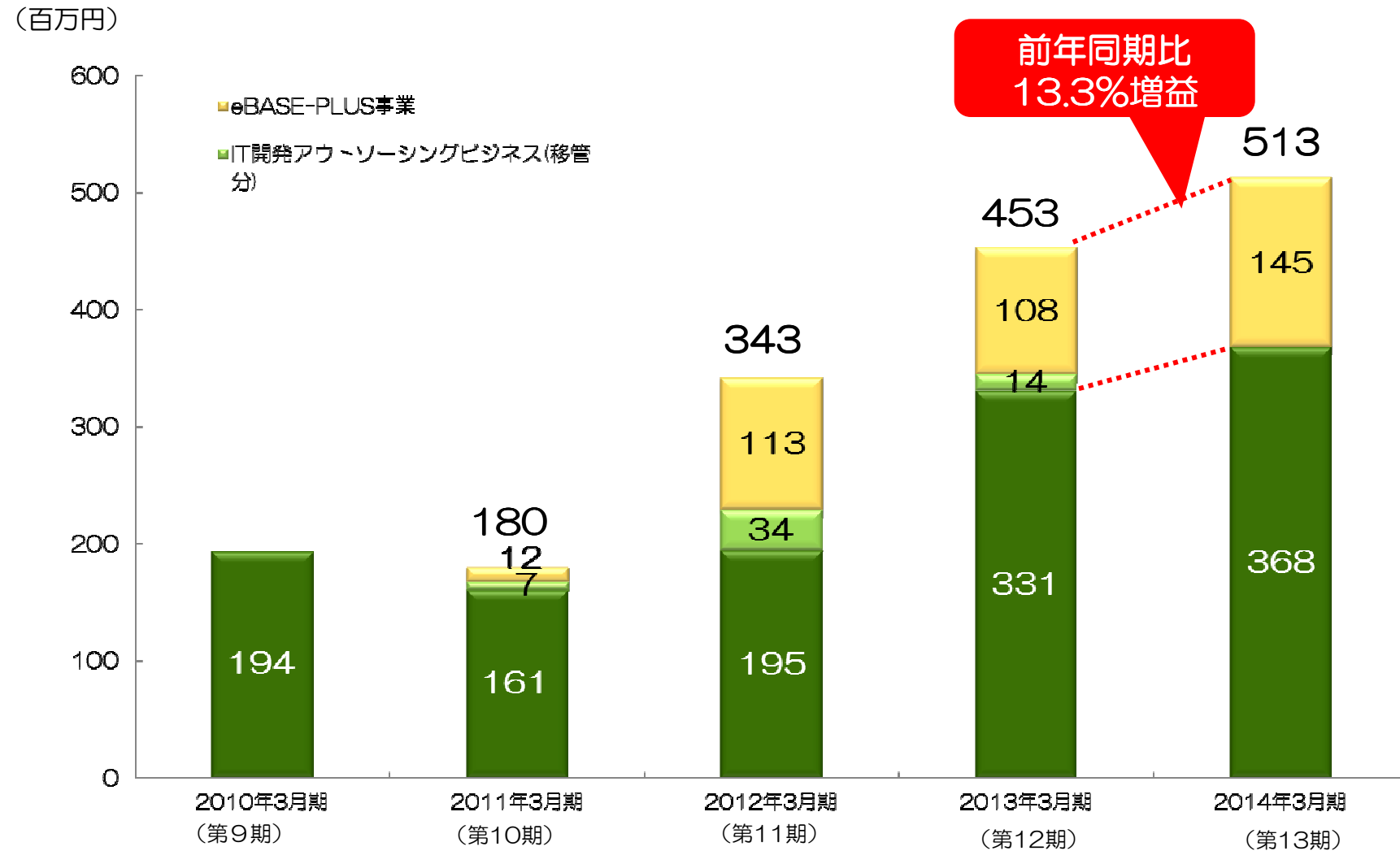


注1.2011年3月期（第10期）第4四半期に連結子会社（eBASE-PLUS株）が事業譲受を行っております。

注2.セグメント間取引については、相殺消去しております。

注3.2013年3月期（第12期）第3四半期よりeBASE事業の「IT開発アウトソーシングビジネス」をeBASE-PLUS株に移管を行っております。

連結経常利益の推移



注1.2011年3月期（第10期）第4四半期に連結子会社（eBASE-PLUS株）が事業譲受を行っております。

注2.セグメント間取引については、相殺消去しております。

注3.2013年3月期（第12期）第3四半期よりeBASE事業の「IT開発アウトソーシングビジネス」をeBASE-PLUS株に移管しております。

連結業績の推移

(単位：百万円)

	2010年3月期 (第9期)	2011年3月期 (第10期)	2012年3月期 (第11期)	2013年3月期 (第12期)	2014年3月期 (第13期)
売 上 高 (eBASE事業) (IT開発アウトソーシングビジネス (移管分)) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	800 (800) (-) (-) (-)	1,261 (760) (22) (479) (△0)	2,655 (840) (97) (1,737) (△19)	2,825 (1,067) (48) (1,772) (△62)	2,782 (1,146) (-) (1,640) (△4)
営業利益	192	174	315	444	508
経常利益 (eBASE事業) (IT開発アウトソーシングビジネス (移管分)) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	194 (194) (-) (-) (-)	180 (161) (7) (11) (1)	343 (195) (34) (113) (0)	453 (331) (14) (108) (0)	513 (368) (-) (145) (0)
当期純利益	125	109	203	280	326

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 (2013年3月末)	当期 (2014年3月末)	前期末比	
流動資産	1,391	1,246	△145	現金及び預金△198 受取手形及び売掛金39
固定資産	404	689	285	
(有形+無形資産)	(56)	(49)	(△7)	車両運搬具+9 のれん△14
(その他)	(348)	(640)	(292)	投資有価証券+292
資産合計	1,796	1,935	139	
流動負債	305	250	△55	未払消費税等△27
固定負債	1	1	0	
負債合計	306	251	△55	
株主資本合計	1,482	1,681	199	利益剰余金+270 (配当金支払 △56) (当期純利益の計上+326) 自己株式△74
新株予約権	3	3	0	
少数株主持分	5	-	△5	
純資産合計	1,490	1,684	194	
負債・純資産合計	1,796	1,935	139	

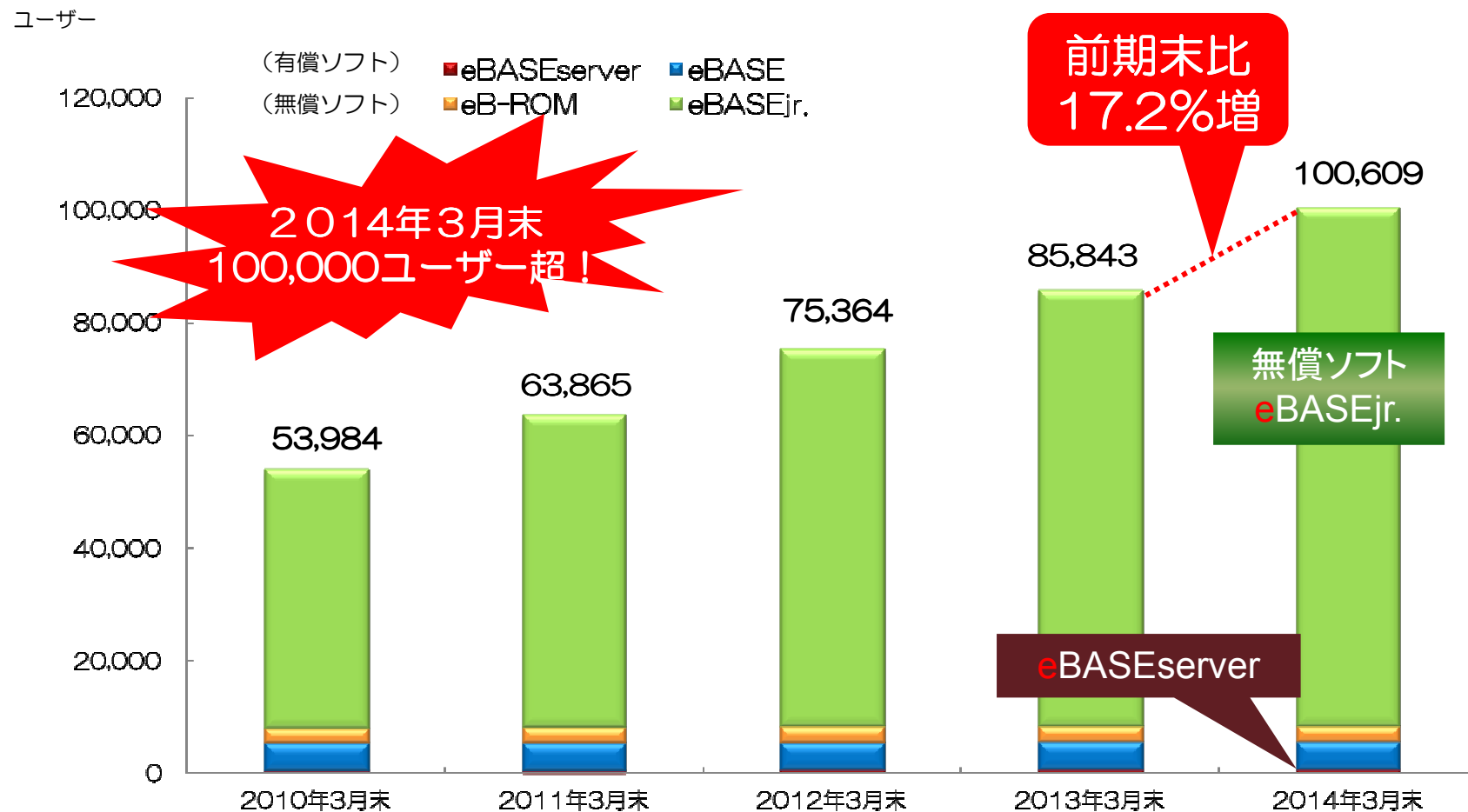
eBASE事業報告

- 製品ユーザー数の推移
- 業界別ユーザー数の推移
- 種類別販売実績の推移
- 業界別売上実績の推移
- 2014年3月期 施策とその結果報告

製品ユーザー数の推移/eBASE事業

商品情報交換の標準プラットフォームとして着実に普及！

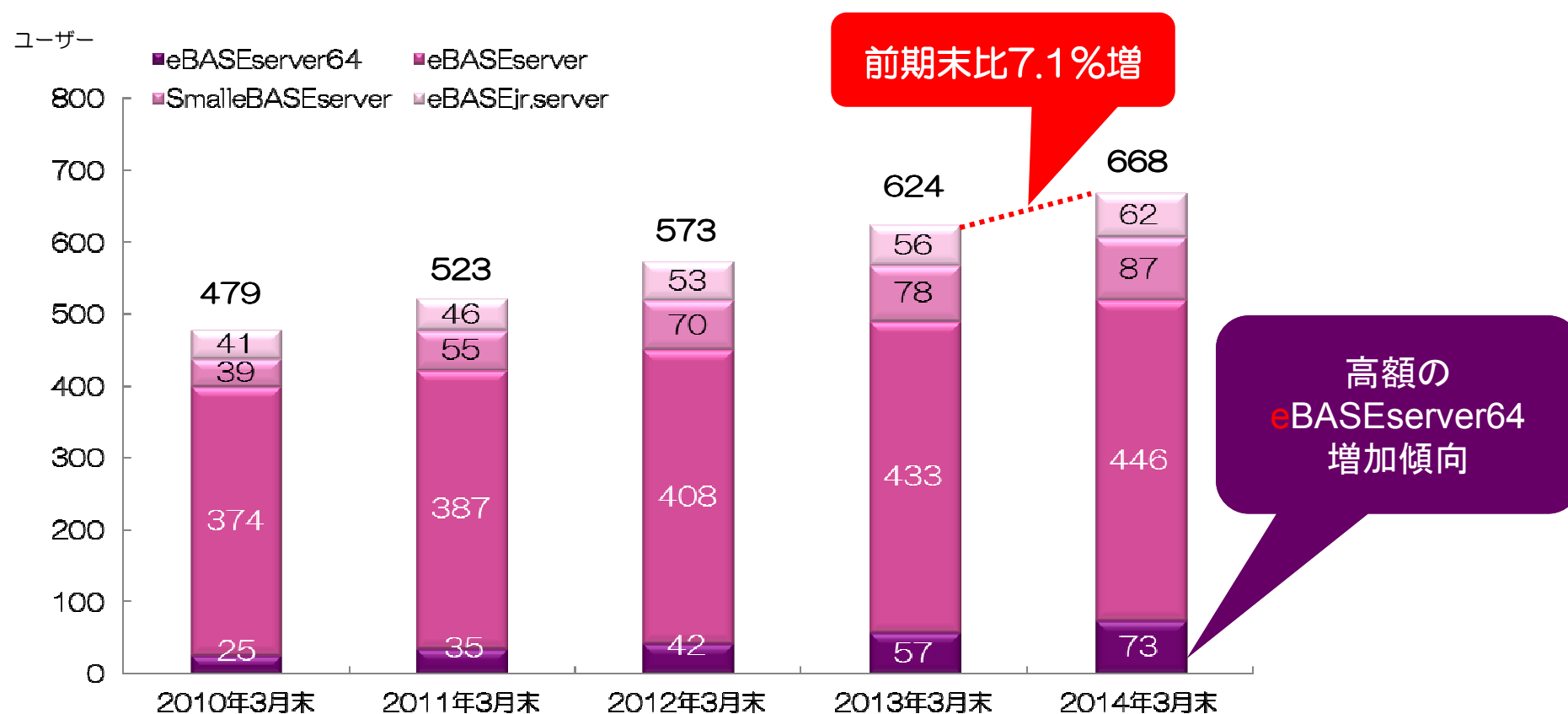
総ユーザー数（2014年3月末現在）



eBASEserverユーザーの推移/eBASE事業

無償ソフトeBASEjr.ユーザーに対し
最上位eBASEserverへのグレードアップを促進！

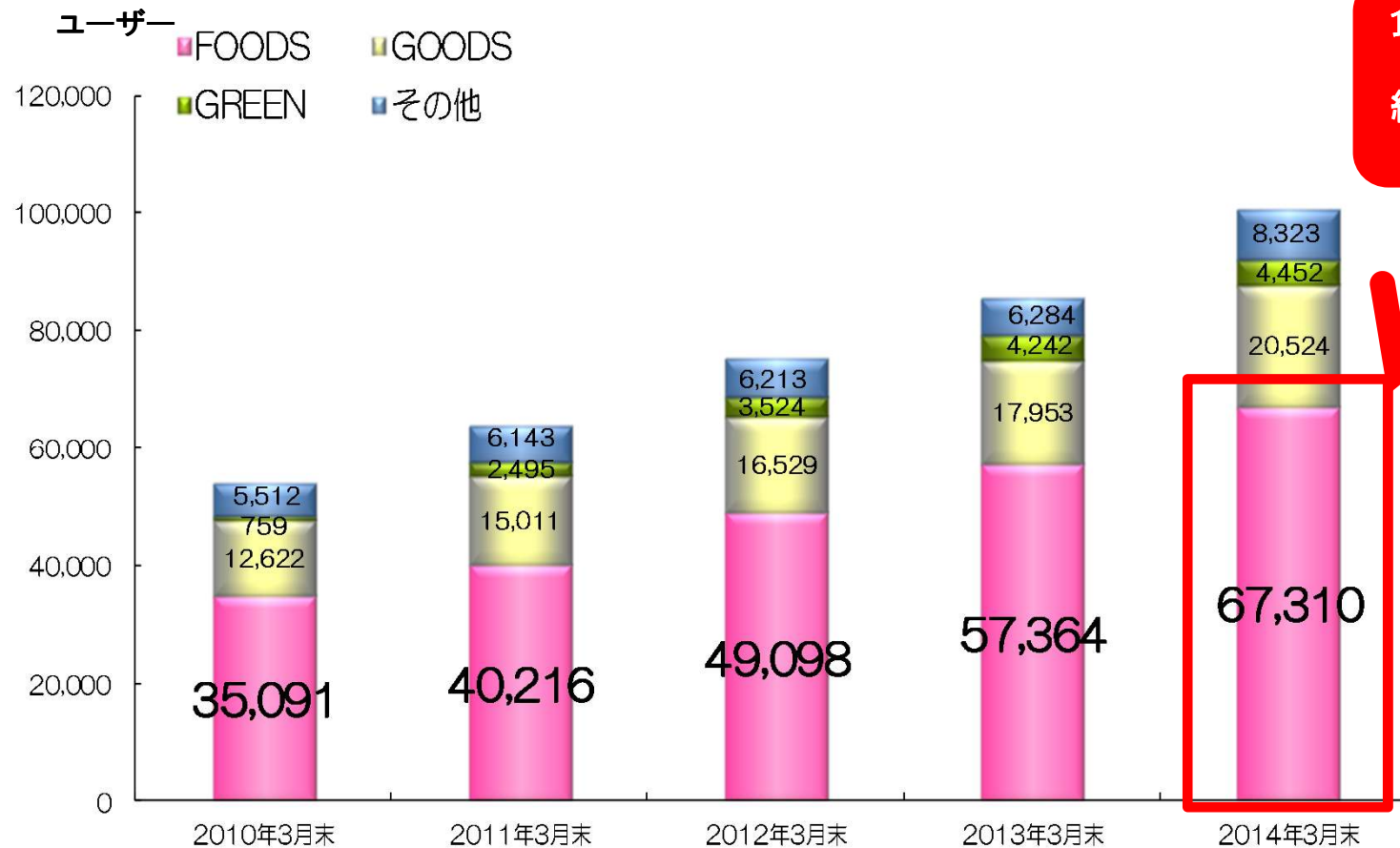
累計ユーザー数（2014年3月末現在）



業界別ユーザー数の推移/eBASE事業

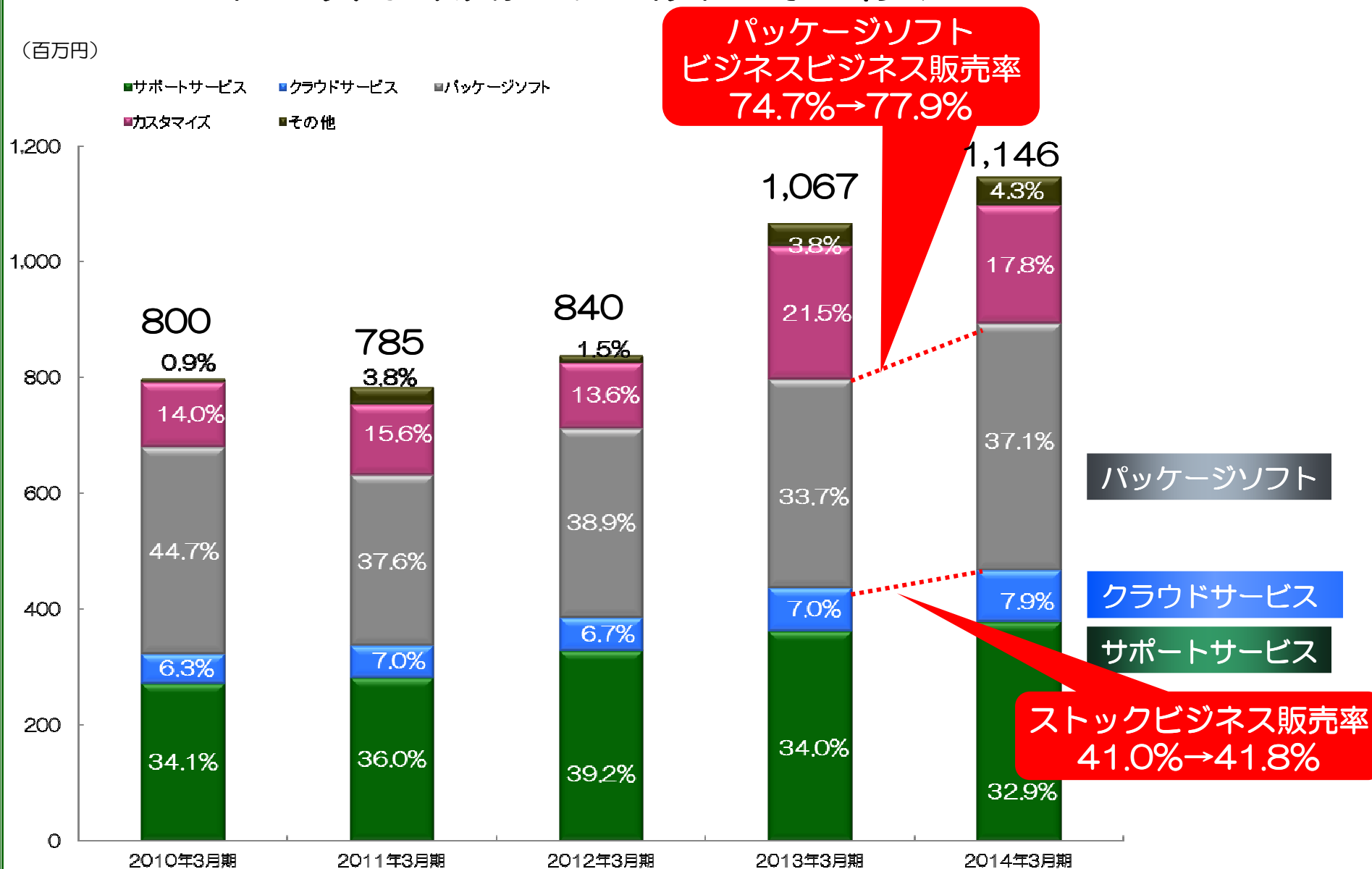
幅広い業界で商品情報交換の標準プラットフォームとして普及!

総ユーザー数（2014年3月末現在）



食の安全ニーズで
継続普及
約67,000ユーザー
/約16,000社

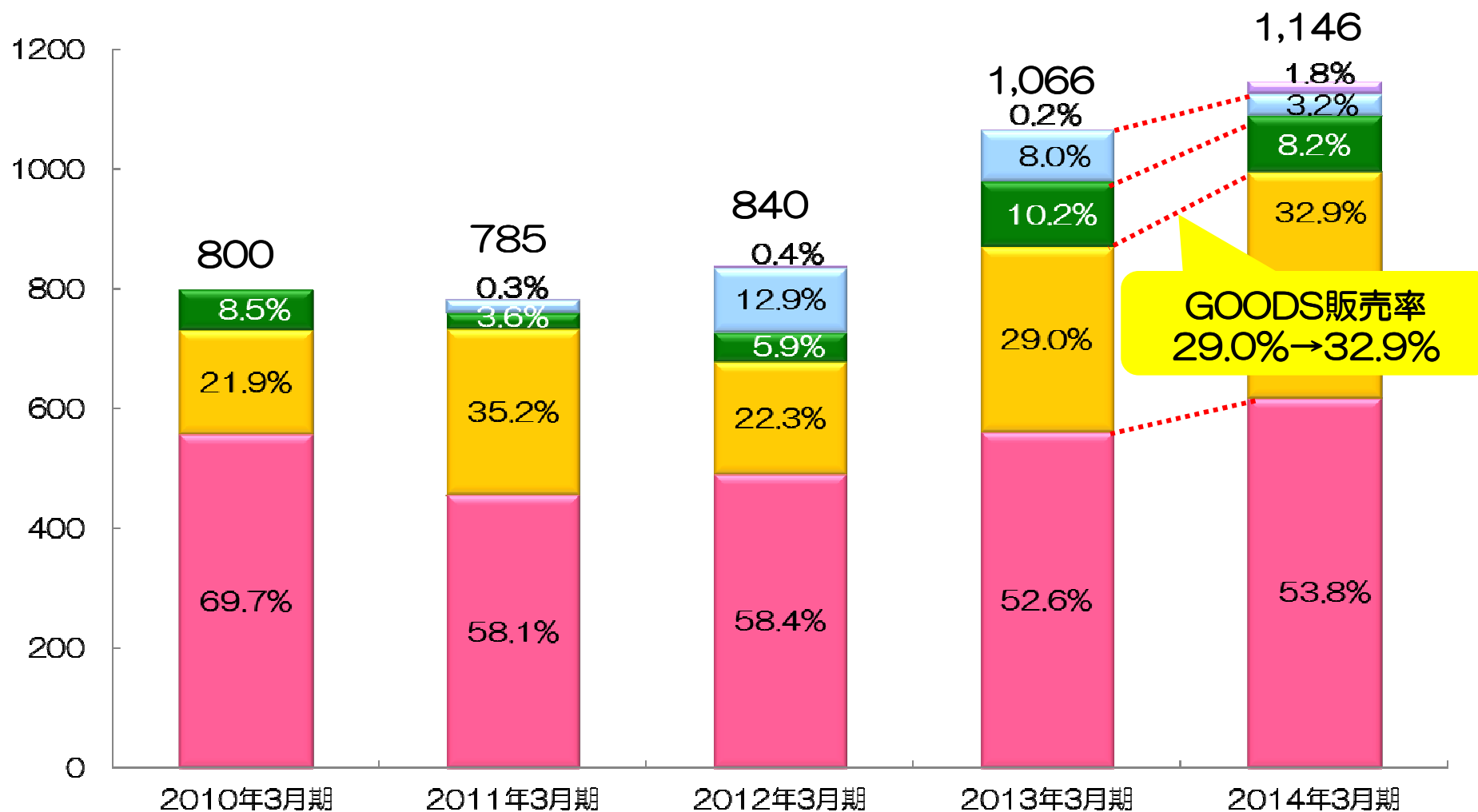
種類別販売実績の推移/eBASE事業



業界別売上実績の推移/eBASE事業

(百万円)

FOODS GOODS GREEN
ミドルウェア その他

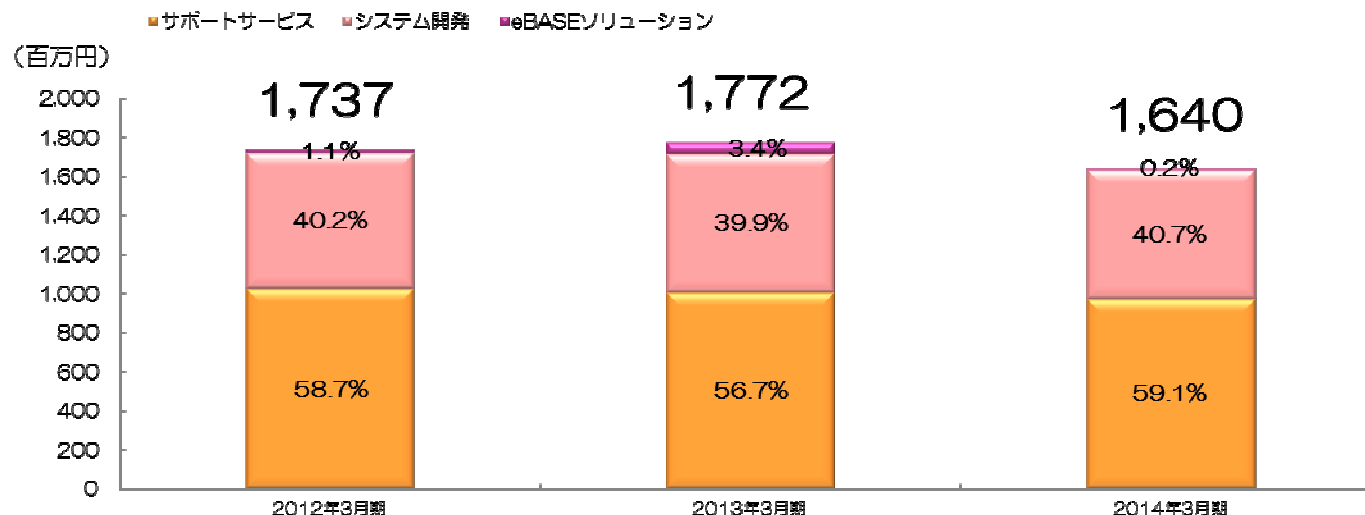


2014年3月期 施策とその進捗報告/eBASE事業

業界	2014年3月期 施策	その進捗
FOODS/ クラウドビジネス	・売上計画値（通期）：614百万円 ・現事業モデルの推進 ・クラウド&ストックビジネスの推進 ・ネットスーパー攻略での「NBセンター」デファクト化を推進 ・「FOODS eBASE」クラウドビジネスの小売り企業への継続推進 ・無償eBASEjr.向け機能提供	・売上実績（通期）：617百万円 （計画比：+0.5% 前年比：+9.9%） ・eBASE商品情報交換の普及で、引き合い増加 ・クロスセル・アップセルによる継続受注案件が増加 ・パートナーSI企業のシステムと協業連携しながら、ホテル、百貨店業界への「FOODS eBASE」の拡販を推進 ・「FOODS eBASE」クラウドビジネスの学校給食（スクールランチ）への販促を推進 ・法令改正で追加された特定アレルギー対応の新バージョンのリリース
GOODS	・売上計画値（通期）：370百万円 ・特化した業界（工具業界・電材業界・検査業界等）への攻略アプローチを継続 ・受託開発型商品DBで競合製品のない間にデファクト獲得の推進 ・スマホ、タブレット対応での「ミドルウェアeBASE」の機能強化	・売上実績（通期）：378百万円 （達成率：+2.0% 前年比：+21.9%） ・スマホ、タブレットの普及で商品情報管理やコンテンツ管理での引き合い増加 ・工具業界、ホームセンター業界等へ業界単位攻略を継続 ・アパレル業界の業界単位攻略の検討 ・新アプリケーションとして、業界単位でのメンテナンス部品管理システム等の企画・販促を推進
eBASE ミドルウェア	・売上計画値（通期）：63百万円 ・パートナー企業の開拓 ・「ミドルウェアeBASE」を利用した受託開発案件の受注促進を推進 ・新市場創造（基幹系システム市場）	・売上実績（通期）：37百万円 （達成率：△70.7% 前年比：△56.8%） ・CMS開発プラットフォーム「ミドルウェア eBASE」の開発販売の推進を強化 ・パートナー企業開拓の継続推進 ・基幹系システムのマスターデータマネジメントシステムとしての“eBASE”の販促を継続
その他	・売上計画値（通期）：63百万円 ・GREEN eBASE採用企業からの「ミドルウェアeBASE」を利用した深耕営業を推進	・売上実績（通期）：94百万円 （達成率：+33.0% 前年比：△13.3%）

eBASE-PLUS 事業報告

通期ソリューションビジネス別販売実績の推移



注1. 2013年3月期 第3四半期よりeBASE事業のうち、「技術者派遣ビジネス」をeBASE-PLUS(株)に移管を行っております。

注2. 2013年3月期以前には、eBASE事業の「技術者派遣ビジネス」が含まれています。

注3. 連結でのセグメント間取引については、相殺消去しておりません。

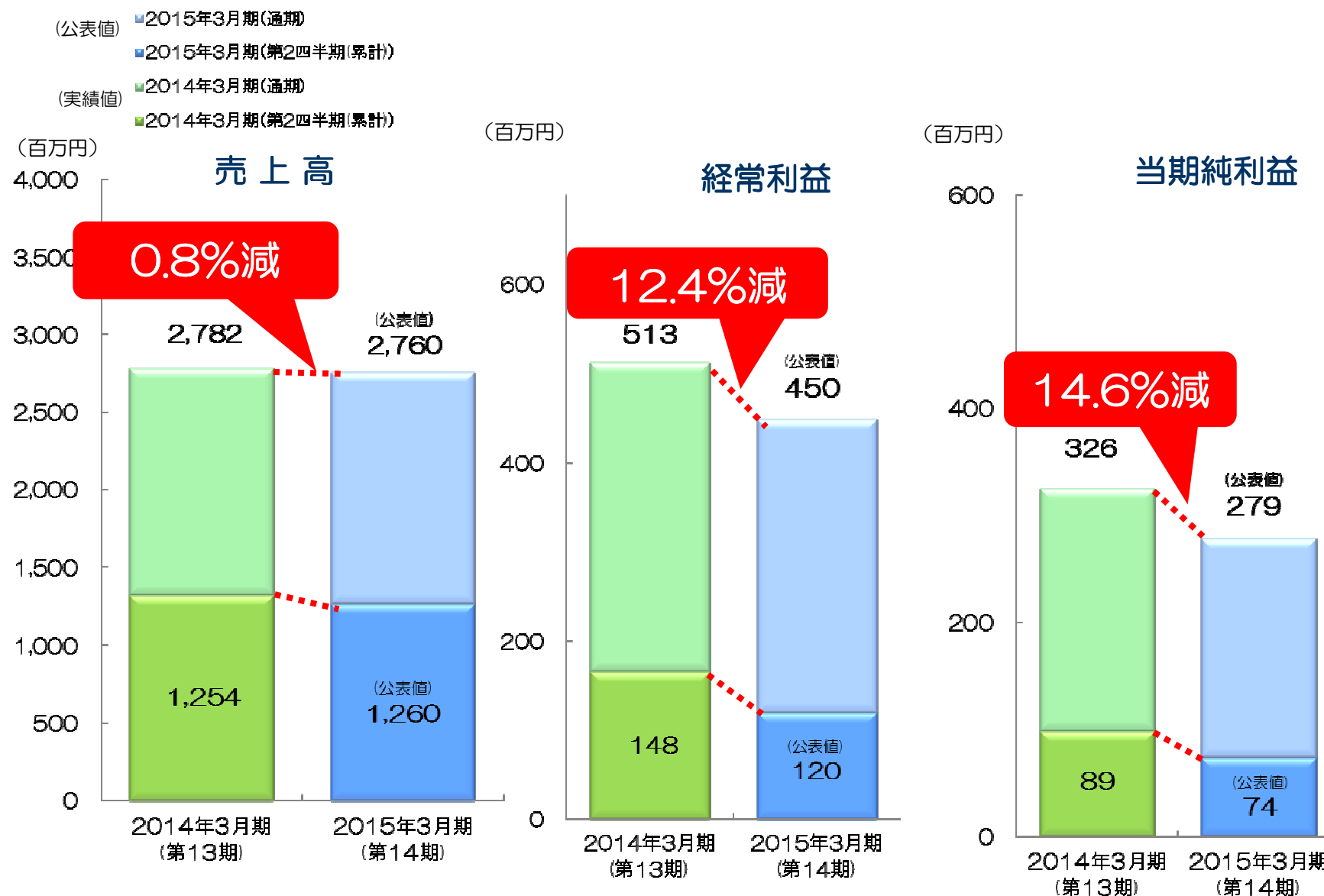
今年度施策とその進捗報告/eBASE-PLUS事業

業界	2014年3月期 施策	その進捗
IT開発アウトソーシングビジネス	- 売上計画値（通期）：1,720百万円 - 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持 - 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討 - 改正労働派遣法対応でBP減少、正社員対応化 ※BP・・・ビジネスパートナー（外部委託）	- 売上実績（通期）：1,640百万円 （計画比：△4.9% 前年比：△7.5%） - 改正労働派遣法での法令順守強化による外部委託減 - 低差益案件の解消 - 新規人材採用が順調、単価アップや条件変更による利益増 - eBASE事業のIT開発アウトソーシングビジネス移管による増

2015年3月期 eBASEビジネス展開計画

- 2015年3月期連結業績予想
- ビジネス展開施策
 - eBASE事業
 - eBASE-PLUS事業

2015年3月期の連結業績予想



2015年年3月期 ビジネス展開施策

eBASE事業	2015年3月期 施策
FOODS/ クラウドビジネス	・売上目標値：eBASE事業内比率/ 約60% ・現事業モデルの推進 ・クラウド&ストックビジネスの推進 ネットスーパー攻略での「NBセンター」のデファクト化を継続推進と販促強化 「FOODS eBASE」を学校給食（スクールランチ）の食物アレルギー管理に特化したクラウドサービスの販促の推進
GOODS	・売上目標値：eBASE事業内比率/ 約35% ・特化した業界（工具業界・電材業界・検査業界等）への攻略アプローチを継続 ・受託開発型商品DBで競合製品のない間にデファクト獲得の推進 ・スマホ、タブレット対応での「ミドルウェアeBASE」の機能強化
eBASEミドルウェアビジネス	・売上目標値：eBASE事業内比率/ 約3% ・パートナー企業の開拓 ・「ミドルウェアeBASE」を利用した受託開発案件の受注促進を推進 ・新市場創造（基幹系システム市場）
Webソリューション	・eBASEミドルウェアと連携したソリューション事業への転換を図る
その他	・売上目標値：eBASE事業内比率/ 約2% ・GREEN eBASE採用企業からの 「ミドルウェアeBASE」を利用した深耕営業を推進
eBASE -PLUS事業	2015年3月期 施策
IT開発アウトソーシングビジネス	・売上目標値：eBASE-PLUS事業 1,630百万 ・既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持 ・安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討

本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ
管理部 06-6486-3955
management@ebase.co.jp